

佐藤小学校 活動（実践）報告

(1) 活動（実践）内容

○ 5年 Hi, friends! 「What do you like?」

① 導入

- ・ 授業の始めに、男女関係なく友達同士であいさつをする活動や、歌やチャンツを取り入れ、明るく楽しい雰囲気づくりを心掛けた。

② 活動

・ キーワードゲーム

ペアを組み、真ん中に消しゴムを置いて単語を繰り返し言い、キーワードが出たら消しゴムを素早く取る。友達に好きなものを聞くために、色、形、動物、果物、キャラクターなどの言い方に慣れさせた。その際、手を頭や肩、目や鼻などに置かせ、体の部分の単語も自然にわかるようにした。

・ レボリューションゲーム

レベル1は「What color do you like?」レベル2は「What animal do you like?」レベル3は「What fruit do you like?」レベル4は「What shape do you like?」と決め、最初は皆レベル1からスタートする。ペアを見つけ、じゃんけんをして勝てば相手に質問することができ、レベルが1つ上がるが、負けるとレベル1に戻る。レベル4はALTが担任と行い、勝てばゴール。子供たちはゴール目指して繰り返し挑戦していた。

・ カラーカードゲーム

赤、黄、緑の3枚のカードをたくさん用意しておく。どの色でもよいので、一人3枚ずつ持つ。色ごとに質問を決めておき、ペアを見つけてじゃんけんをする。勝ったら質問することができ、カードを相手からもらうこともできる。負けると質問に答え、カードを相手に渡す。カードがなくなったら、ALTが担任のところへ行き、1枚もらってゲームを再開する。たくさんカードを集めるために、進んで相手を見つけ、質問していた。

・ Tシャツ作りゲーム

第3時には、ALTに好きなものを質問をして、好みに合ったTシャツのデザインをし、みんなに紹介した。第4時には、ペアの友達の好きなものを質問し、好みに合ったTシャツのデザインを考え、みんなに紹介した。相手の好きなものをデザインに取り入れようと工夫していた。

(2) 成果・課題

- 楽しい雰囲気で行うことができ、意欲的な活動へとつながった。勝敗がはっきりしているものや、ゴールがあるゲームなどを通して、積極的に友達と関わることもできた。普段あまり話さない子とも進んで関わっていた。
- ゲームの時、勝敗へのこだわりから、本来言うべきフレーズを言わずに、次へ進もうとする子がいた。ゲームとしての楽しさだけでなく、友達と関わったことや知らなかったことを知ることができた嬉しさなどが感じられるような活動を考えたい。